

平成19年8月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

平成19年1月11日

上場会社名 株式会社ファーストリテイリング

(コード番号: 9983 東証第1部)

(URL <http://www.fastretailing.com/jp/ir>)

代表者 役職名 代表取締役会長兼社長

氏名 柳井 正 TEL: (03)6272-0050

問合せ先責任者 役職名 取締役

氏名 松下 正

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容) 法人税等の計上基準につきましては、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。
 その他影響額が僅少なものについて、一部簡便的な方法を採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
 (内容) 在外連結子会社の収益及び費用項目については、これまで決算時の為替相場により換算する方法を採用してまいりましたが、在外子会社の重要性が増し、各四半期毎の損益の状況をよりの確に表示する目的で、当連結会計年度より、期中平均相場により換算する方法に変更いたしました。この変更が損益に与える影響は軽微であります。
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 (内容) 連結(新規) 1社 持分法(新規) 1社

2. 平成19年8月期第1四半期財務・業績の概況(平成18年9月1日～平成18年11月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年8月期第1四半期	145,049	(20.3)	25,094	(5.2)	25,893	(4.5)	14,198	(2.2)
18年8月期第1四半期	120,536	(15.4)	23,842	(20.4)	24,787	(21.5)	13,891	(17.5)
(参考) 18年8月期	448,819	(16.9)	70,355	(24.1)	73,138	(24.8)	40,437	(19.3)

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年8月期第1四半期	139	40	—	—
18年8月期第1四半期	136	57	—	—
(参考) 18年8月期	397	38	397	26

(注) 1. 期中平均株式数 19年8月期第1四半期 101,851,702株 18年8月期第1四半期 101,714,917株

18年8月期 101,762,221株

2. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、前年同四半期に対する増減率であります。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期(平成18年9月1日～平成18年11月30日)におけるわが国経済は、企業収益の好転に伴う雇用の改善や、設備投資の増加に加え、世界経済の回復基調にも支えられて、その効果が、緩やかながらもようやく家計セクターに波及してまいりました。

当グループの属する衣料小売業界におきましては、個人消費は回復基調にあるものの、市場の縮小傾向は継続しており、国内外の同業他社との競争環境も益々厳しさを増しております。

当グループは、持株会社体制に移行して約1年が経過しましたが、①再ベンチャー化、②グローバル化、③グループ化をキーワードに、2010年に売上高1兆円、経常利益1,500億円の目標を達成し、世界一のアパレル小売グループとなるべく、引き続き事業構造改革を推進しております。

グループの中核である国内ユニクロ事業においては、商品面ではニューヨーク、東京、パリ、ミラノのR&Dセンターにおいて、質、量ともに世界水準の、より洗練された商品開発を進める一方、500坪規模の大型店を成長ドライバーとして位置付け、大型ショッピングセンター等への出店を積極的に進めており、着実な成果を上げております。なお、当第1四半期におきましては、キャンペーン商品の販売が好調に推移する一方、暖冬傾向の中、集客を目的とした戦略的な値引き販売を進めてまいりましたが、増収増益を達成しております。

海外ユニクロ事業においては、昨年11月、ニューヨークのソーホー地区に売場面積1,000坪のグローバル旗艦店をオープンいたしました。ユニクロにおける最高水準の商品・売場・サービスを提供する、世界に向けてのショーケースとして、売上は順調に推移しております。また、上海における大型店出店も好調にスタートしており、英国、韓国、香港も含め、ユニクロ事業のグローバル化に向けて世界各地で事業基盤を固めつつあります。

新規事業につきましては、国内においては、前期に設立した株式会社ジーユーが、ファミリーカジュアルの新ブランド「g.u. (ジーユー)」25店舗（平成18年12月末現在）をオープンして営業を開始し、平成18年8月に友好的なTOBにより子会社化した婦人服専門店チェーンの株式会社キャビン（東証1部上場）とともに、当期より連結売上高を構成する重要な子会社になっております。また、昨年11月には婦人靴専門店を展開する株式会社ビューカンパニー（JASDAQ上場）の第三者割当増資を引き受け、持分法適用の関連会社といたしました。これにより同社の今後の成長を資金面からサポートするとともに、業務提携を通じてグループにおける靴事業のさらなる強化・拡充を図ります。

海外においては、欧州でフレンチカジュアルブランド「コントワー・デ・コトニエ」を展開するクリエーション ネルソン社と、フランスの代表的なランジェリーブランド「プリンセス タム・タム」を展開するプティ ヴィクトル社を傘下に持つエフアール・フランス社の業績が、当期に入っても好調に推移しており、欧州におけるグループの事業展開に大きく貢献しております。

また、社会にプラスとなる企業を目指す当グループのCSR（企業の社会的責任）に対する基本的な考え方などをご理解いただくために、昨年11月にCSRレポートを作成、開示いたしました。「服を変え、常識を変え、世界を変えていく」を合言葉に、CSR経営においても世界水準を目指し、グループをあげて真摯に取り組んでまいります。

以上のような状況のもと、当第1四半期の連結業績につきましては、売上高145,049百万円、経常利益25,893百万円、四半期純利益は14,198百万円と、前年同期に比して増収増益となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年8月期第1四半期	395,132	247,425	59.4	2,302 86
18年8月期第1四半期	330,208	192,043	58.2	1,888 06
(参考) 18年8月期	379,655	240,479	60.1	2,240 77

(注) 期末発行済株式数 19年8月期第1四半期 101,851,647株 18年8月期第1四半期 101,714,897株
18年8月期 101,851,747株

【連結キャッシュ・フローの状況】

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年8月期第1四半期	1,788	△2,383	△4,384	136,826
18年8月期第1四半期	21,941	△2,741	△7,135	137,568
(参考) 18年8月期	57,477	△41,907	1,932	141,404

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

①財政状態の変動状況

総資産は、前連結会計年度に比べ15,477百万円増加いたしました。これは主として売掛金及び受取手形の増加13,530百万円、たな卸資産の増加8,880百万円などによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

- ・現金及び現金同等物は前連結会計年度に比べ4,577百万円減少いたしました。
- ・営業活動によるキャッシュフローは、税金等調整前四半期純利益25,752百万円、売上債権の増加額13,474百万円、たな卸資産の増加額8,730百万円、仕入債務の増加額25,253百万円、法人税等の支払額33,863百万円などにより1,788百万円となりました。
- ・投資活動によるキャッシュフローは、有価証券の償還による収入5,653百万円、有形固定資産の取得による支出3,445百万円、敷金保証金の増加による支出3,356百万円、関係会社への出資による支出2,203百万円などにより△2,383百万円となりました。
- ・財務活動によるキャッシュフローは、短期借入金の純増加額2,170百万円、配当金の支払額6,494百万円などにより△4,384百万円となりました。

○添付資料

四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、商品部門別売上

以上

[参考]

平成19年8月期の連結業績予想（平成18年9月1日～平成19年8月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	282,000	44,700	24,000
通期	532,500	76,400	41,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期）402円55銭

平成19年8月期の提出会社の業績予想（平成18年9月1日～平成19年8月31日）

	営業収益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	21,300	16,500	15,700
通期	53,900	44,000	42,900

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期）421円20銭

(注) 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

1. 第1四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年8月期 第1四半期末)		前年同四半期 (平成18年8月期 第1四半期末)		(参 考) 平成18年8月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)						
I 流動資産						
1. 現金及び預金	116,380		87,669		121,950	
2. 受取手形及び売掛金	21,927		15,599		8,396	
3. 有価証券	20,575		49,899		25,237	
4. たな卸資産	51,742		40,162		42,862	
5. 為替予約	25,682		35,812		27,694	
6. その他	22,714		5,275		24,314	
7. 貸倒引当金	△176		△20		△128	
流動資産合計	258,847	65.5	234,398	71.0	250,326	65.9
II 固定資産						
1. 有形固定資産						
(1) 建物及び構築物	27,066		17,377		23,229	
(2) その他	6,484		3,875		6,663	
有形固定資産合計	33,550	8.5	21,252	6.4	29,892	7.9
2. 無形固定資産	40,693	10.3	17,737	5.4	41,221	10.9
3. 投資その他の資産						
(1) 投資有価証券及び 出資金	9,911		13,662		7,773	
(2) 敷金・保証金	31,372		23,327		29,638	
(3) 建設協力金	20,185		20,337		20,288	
(4) その他	1,580		777		1,524	
(5) 貸倒引当金	△1,009		△1,285		△1,012	
投資その他の資産合計	62,040	15.7	56,819	17.2	58,213	15.3
固定資産合計	136,284	34.5	95,810	29.0	129,328	34.1
資産合計	395,132	100.0	330,208	100.0	379,655	100.0

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年8月期 第1四半期末)		前年同四半期 (平成18年8月期 第1四半期末)		(参 考) 平成18年8月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(負債の部)						
I 流動負債						
1. 支払手形及び買掛金	68,370		56,332		42,794	
2. 未払法人税等	11,626		9,406		30,340	
3. 為替予約繰延ヘッジ利益	—		35,812		—	
4. その他	41,104		19,791		39,358	
流動負債合計	121,100	30.6	121,342	36.7	112,492	29.7
II 固定負債						
1. 長期借入金	19,534		4,438		19,584	
2. その他	7,072		6,431		7,098	
固定負債合計	26,606	6.7	10,869	3.3	26,683	7.0
負債合計	147,707	37.4	132,212	40.0	139,175	36.7
(少数株主持分)						
少数株主持分	—	—	5,951	1.8	—	—
(資本の部)						
I 資本金	—	—	10,273	3.1	—	—
II 資本剰余金	—	—	4,579	1.4	—	—
III 利益剰余金	—	—	191,203	57.9	—	—
IV その他有価証券 評価差額金	—	—	1,595	0.5	—	—
V 為替換算調整勘定	—	—	432	0.1	—	—
VI 自己株式	—	—	△16,041	△4.8	—	—
資本合計	—	—	192,043	58.2	—	—
負債・少数株主持分 及び資本合計	—	—	330,208	100.0	—	—
(純資産の部)						
I 株主資本						
1. 資本金	10,273	2.6	—	—	10,273	2.7
2. 資本剰余金	4,999	1.3	—	—	4,999	1.3
3. 利益剰余金	218,510	55.3	—	—	211,135	55.6
4. 自己株式	△15,547	△3.9	—	—	△15,539	△4.1
株主資本合計	218,236	55.2	—	—	210,868	55.5
II 評価・換算差額等						
1. その他有価証券評価差額金	348	0.1	—	—	464	0.1
2. 繰延ヘッジ損益	15,284	3.9	—	—	16,384	4.3
3. 為替換算調整勘定	680	0.2	—	—	509	0.1
評価・換算差額等合計	16,313	4.1	—	—	17,358	4.6
III 少数株主持分	12,874	3.3	—	—	12,252	3.2
純資産合計	247,425	62.6	—	—	240,479	63.3
負債及び純資産合計	395,132	100.0	—	—	379,655	100.0

2. 第1四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年8月期 第1四半期)		前年同四半期 (平成18年8月期 第1四半期)		(参 考) 平成18年8月期	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
I 売上高	145,049	100.0	120,536	100.0	448,819	100.0
II 売上原価	76,084	52.5	62,794	52.1	236,401	52.7
売上総利益	68,964	47.5	57,741	47.9	212,418	47.3
III 販売費及び一般管理費	43,870	30.2	33,899	28.1	142,062	31.7
営業利益	25,094	17.3	23,842	19.8	70,355	15.7
IV 営業外収益	1,412	1.0	1,177	1.0	4,260	0.9
V 営業外費用	613	0.4	232	0.2	1,477	0.3
経常利益	25,893	17.9	24,787	20.6	73,138	16.3
VI 特別利益	4	0.0	44	0.0	1,300	0.3
VII 特別損失	145	0.1	270	0.2	1,685	0.4
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	25,752	17.8	24,560	20.4	72,752	16.2
法人税、住民税及び事業税	11,303	7.8	10,239	8.5	30,933	6.9
少数株主利益	250	0.2	429	0.4	1,381	0.3
四半期(当期) 純利益	14,198	9.8	13,891	11.5	40,437	9.0

3. 商品部門別売上

(単位：百万円、%)

部門	当四半期 (平成19年8月期 第1四半期)		前年同四半期 (平成18年8月期 第1四半期)		(参考) 平成18年8月期	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
		%		%		%
メンズ	41,157	28.4	42,126	34.9	155,462	34.6
ウィメンズ	42,450	29.3	37,223	30.9	121,959	27.2
キッズ・ベビー	7,436	5.1	6,673	5.5	22,944	5.1
インナー	22,126	15.2	15,971	13.3	66,361	14.8
グッズ・その他	5,892	4.1	5,157	4.3	19,260	4.3
商品売上計	119,063	82.1	107,151	88.9	385,989	86.0
F C 関連収入・補正費売上高	2,314	1.6	2,283	1.9	7,619	1.7
国内ユニクロ事業合計	121,378	83.7	109,434	90.8	393,608	87.7
海外ユニクロ事業	3,642	2.5	2,169	1.8	8,737	1.9
ユニクロ事業合計	125,020	86.2	111,603	92.6	402,346	89.6
キャビン事業	5,754	4.0	—	—	—	—
ワンゾーン事業	4,816	3.3	4,917	4.0	21,467	4.8
C D C 事業	5,359	3.7	3,477	2.9	17,292	3.9
P V 事業	3,218	2.2	—	—	5,456	1.2
その他衣料品関連事業	728	0.5	436	0.4	1,634	0.4
その他事業 (賃貸事業等)	151	0.1	101	0.1	622	0.1
合計	145,049	100.0	120,536	100.0	448,819	100.0

- (注) 1. F C 関連収入とは、フランチャイズ店に対する商品売上高、フランチャイズ店からのロイヤリティ収入であり、補正費売上高とは、パンツの裾上げ(補正)の加工賃及び刺繍プリントによる収入であります。
2. ユニクロ事業とは、「ユニクロ」ブランドのカジュアル衣料品販売事業であります。
3. キャビン事業とは、「ザジ」、「イーエーピー」、「アンラシーネ」ブランド等の国内における婦人向け衣料品等販売事業であります。
4. ワンゾーン事業とは、靴小売事業であります。
5. C D C 事業とは、「COMPTOIR DES COTONNIERS (コントワー・デ・コトニエ)」ブランドの国内外における衣料品販売事業であります。
6. P V 事業とは、主として「PRINCESSE tam. tam (プリンセス タム・タム)」ブランドの欧州における衣料品販売事業であります。
7. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。